

平成29年度 市民と議会をつなぐ意見交換会 報告書

開催日 平成30年1月28日（日）

開催会場 三原市議会議事堂

開催内容

第1部 全体会

議会のしくみ・役割について

第2部 意見交換会

1班 総務財務委員会

①「公共施設マネジメント～公共施設の新しい未来を一緒に作る～」

②「定住促進のあり方～みんなでつくる住みやすいまち～」

2班 厚生文教委員会

「子育て支援のあり方～子育てしやすい環境づくり～」

3班 経済建設委員会

「瀬戸内三原 築城450年事業の成果と課題～これからの三原市の観光について～」

まとめ

全体質疑

三原市議会

「市民と議会をつなぐ意見交換会」 報告書

開催日	平成30年1月28日(日)	10時20分から11時25分	
開催場所	三原市議会議事堂(議場)	参加人数	58人
班・班員	1班 別表委員名のとおり	出席議員	9人

【意見交換会】 テーマ「①公共施設マネジメント～公共施設の新しい未来を一緒につくる～」 (総務財務 委員会)

	参加者からの質問・意見・要望など	議会からの意見・回答など
意見交換	・市民1人あたりの公共施設が多いのは、統廃合した小学校の施設がそのまま残っているからではないか。	・小学校の統廃合後の利活用ができていないのは要因の一つである。しかし、統合後の小学校を民間施設(米粉製粉会社)での活用の事例もある。地域コミュニティでの利活用も考えられている。
	・消防署の跡地に健康相談やリハビリ等のできる健康増進施設の設置の要望をしたい。	・円一地区の再編については、現在市からの方向性が提示され議論が進んでいる。ご提案のものについては要望として承る。
	・船木小学校の跡地については、2年半進んでいない。議論をする場所もない。	・閉校委員会の中の跡地活用部会で議論が行われていない現状があるが、意見を聞ける場所を設けることを提案する。
	・近年の図書館ニーズは、本の貸し借りだけでなく、レファレントサービスの充実、子育て支援、居場所づくりなどの様々な役割がある。その付近を考慮して進めて欲しい。	・駅前東館跡地については、民間施設は民間の提案より進められているが、図書館は公設で進められている。これからのあり方については、いただいた意見を参考にしていく。
	・図書館は指定管理の前提でなく、市民の利便性を考えて意見を聞く場を設けるべき。	・意見として伺い、駅前東館跡地活用調査特別委員会で議論していく。

「市民と議会をつなぐ意見交換会」 報告書

開催日	平成30年1月28日(日)	10時20分から11時25分	
開催場所	三原市議会議事堂(議場)	参加人数	58人
班・班員	1班 別表委員名のとおり	出席議員	9人

【意見交換会】 テーマ「②定住促進のあり方～みんなでつくる住みやすいまち～」

(総務財務 委員会)

	参加者からの質問・意見・要望など	議会からの意見・回答など
意見交換	人口減少している中、今は食い止めようとしているのか、増やそうとしているのかを伺う。	人口減少を止めることは難しいが、減少のスピードを抑えるよう努力しているところである。
	現在ペット数は、15歳以下の人口より多い状況にありますが、そういう視点も施策を考えるうえで参考にしてはどうか。	そのような情報ははじめてお伺いした。今後は、様々な視点から施策を考えていきたいと思う。
	小学校の跡地活用として、ドッグラン活用などに検討すべきでは。	ご意見としてお聴きする。
	避難所へペットと同伴できる等、災害の強い地域づくりをすべきでは。また、ペットと一緒に住みやすい町というPRを行えば移住者が増えるのでは。	新しい視点である。どのような方法がいいのか具体的には分からないが、斬新なご意見と受け止めて、今後検討していきたいと思う。
	三原市沿岸部は長い間埋立をしながら今日があり、浜がなくなってきた。自然が失われてきている。人工的に実施してきているので、復興もできるのではないか伺う。(11年前から言っている。)	ご要望としてお伺いする。
	今、どのような三原を目指しているのか。家賃補助や建替えの補助を望む。	ご意見としてお聴きする。
	空き家改修費の限度額30万円を50万円～70万円へ増額を要望する。	ご要望としてお伺いする。
	空き家バンクが増える中、田園回帰の充実を図るためにも、行政もしっかり関わって進めてほしい。	ご要望としてお伺いする。

「市民と議会をつなぐ意見交換会」 報告書

開催日	平成30年1月28日(日)	10時20分から11時20分	
開催場所	三原市議会議事堂(委員会室西)	参加人数	25人
班・班員	2班 別表委員名のとおり	出席議員	7人

【意見交換会】 テーマ「子育て支援のあり方～子育てしやすい環境づくり～」

(厚生文教 委員会)

	参加者からの質問・意見・要望など	議会からの意見・回答など
意見交換	隣接する市町で保育所の受け入れはできるか、市の連携は可能か。	過去に竹原市と連携した例があり、現在も連携は可能である。
	希望する保育所に定員枠があるのに入所できなかった。	定員枠があっても、障がい児受け入れなどにより希望のニーズに対応できないこともある。保育所によっては臨時の保育士で対応している。
	八幡地区にはコミュニティホーム、子どもが交流できる場、遊具などもなく助成していただきたい。	要望は市へ報告する。
	放課後児童クラブ指導員不足についてどのように対応されるか。	指導員の有資格者が不足している。1教室で2人のうち1人は有資格者である必要がある。無資格者は県の研修を一定期間受ける必要がある市に補助を要望している。
	児童館はこれからどうなるのか。	市の計画では、移設の方向である。
	市に相談事があっても、縦割りになっておりどこに行っているかわからない。	窓口の一本化ができていない。要望は市に報告する。
	インフルエンザ予防接種は、子どもへの助成がなく何とかならないか。	インフルエンザ予防接種は、子どもに対しての補助はない。
	保育所の保育料負担軽減措置について、どのようになっているか。	子どもの2人目半額、3人目無償。国は3歳児以上は無償化の方向である。三原市は国の基準よりも細かく所得段階に応じて保育料を設定している。
	子育て支援センターに来ない人の対応はどうしているか。	母子推進委員のなり手が少なく、「すくすく」と連携し、保健師訪問等で対応している。

市民と議会をつなぐ意見交換会 報告書

開催日	平成30年1月28日(日)	10時20分から11時20分	
開催場所	三原市議会議事堂2階委員会室東	参加人数	24人
班・班員	3 班 別表委員名のとおり	出席議員	7人

【意見交換会】テーマ「瀬戸内三原 築城450年事業の成果と課題」 ～これからの三原市の観光について～

(経済建設 委員会)

	参加者からの質問・意見・要望など	議会からの意見・回答など
意見交換	・築城450年事業を通して、博多の名島城との関わりが無いように思うが、どのようになっているのか。	・市長が訪問したが、黒田官兵衛の街との印象が強かった。しかし、今回を契機に情報交換などを通して交流を拡大させていきたい。
	・三原市は、歴史と文化の街を宣言したはずだが、昔のお掘跡にマンションの建設を許可したり、歴史的財産を無視した開発が行われていた。もっと歴史・文化を考えた開発が必要ではないか。	・遅きに失した面もあるが、今後チェックを強化していきたい。
	・文化を大切に感じる感覚が行政にはないのでは。もっと考えて都市開発すべきである。	・企業城下町の衰退で、ようやく文化・観光について目覚めてきた。今後は歴史・文化を大切にしていこう。
	・築城450年事業により、歴史・文化を大切にできる機運が高まったのは良いことであるが、継続して行くことが重要である。しかし、どこが主体で観光の取り組みを行っているのかわかり難く、動きがバラバラに感じる。三原の地域資源を最大限に有効活用するためには各所が連携したプレーをする体制が必要ではないか。	・現在、市内には観光協会が3つあるが、三原全体の観光を作っていくためには1本化が必要ではないかという意見と、そうではないという意見が議会の中でもある。今後とも、建設的に議論していきたい。
	・観光関係の部署が集まって意見交換する機会が必要ではないか。	・意見交換は定期的に行っている。
	・三原の情報発信のやり方がへたである。もっと、県立大の若者を活用して情報発信してもらいたい。	・若者の情報発信力は魅力的であり、今後検討していきたい。
	・平成21年から9年間続いた市民学芸員制度が今年1月で終了した。市民学芸員がまとめたものは貴重な三原の資料であり、財産であるが、資料館に保管された状態で一般公開されていない。何でもっと活用しないのか。三原の宝をどうすべきかをもっと真剣に考えていくべきではないか。	・三原には宝が多くあるが、活かしきれておらず、情報発信不足、活用不足である。450年事業を契機に、これからの繋げていくための対応が必要である。
	・市民学芸員講座が平成29年度で終了するが継続できないのか。今後活動が継続できるようにしてほしい。	・市民学芸員については、我々は十分な把握ができていないのでコメントができないが、確認をしてみる。
	・三原を訪問された方が、駅周辺で道の駅のようなおみやげを買う店がない。受け皿として必要ではないか。	・関係各所に連携を図る。
	・八幡町の選出議員がいないため、行政の対応が鈍い。八幡町には御調八幡宮や公園もあり、うまく活用すれば市外からの客を増やすことができる。歴史ある八幡宮を中心とした活用の検討をお願いしたい。	・自然が豊かで名所もあり、議員も足を運んで検討をしてみたい。

「市民と議会をつなぐ意見交換会」 報告書

開催日	平成30年1月28日(日)	11時45分から12時10分	
開催場所	三原市議会議事堂(議場)	参加人数	107人
班・班員		出席議員	24人

【全体質疑】

	参加者からの質問・意見・要望など	議会からの意見・回答など
意見交換	議会へお願いしたくても議員が紹介議員を受けてくれない。市民と議会を近くするのであれば、事務局で受け付けてほしい。	請願の提出に紹介議員が必要ということは条例、法律で決まっていることなので、なしにすることはできない。
	本郷町からの参加が少ないようだ。本郷町の5人の議員で意見交換会をやってもらえないか。船木の2人だけでも船木でやってもらえないか。	ご希望に添えるよう議会で検討したい。
	議会基本条例には「議会が保有する情報を自由に閲覧できるようにする」とある。条例制定から6年経つが「検討中」とのことだ。どこまですすんでいるのか。	そこまで検討できていない。議会運営委員会と相談しながらできるだけ早く取り組んでいきたい。
	駅前へ図書館を作ることは市広報で出たが、市民に対して「広場を残しますか、図書館を作りますか」と聞いてほしかった。今、広場で子どもたちが遊んでいて、建物がなくてもふれ合う、話ができる場になっている。意見交換会というならもっと根本から変えてほしい。	4年前の第一次特別委員会でどうあるべきかを検討し、昨年度中間報告をまとめた。民間活力を利用して、全体的には民間企業で計画を立ててもらい、民間提案と図書館とで実施計画や契約をすすめていく。市民と特別委員会の直接対話できていないが、議員が市民意見を反映しながら特別委員会では合意をすすめてきた。
	行政・議会・市民の一体感がない。自分はボランティアで台湾からの観光客を三原の飲食店に紹介したりしているが、外国からのインバウンドを取り込むよう、行政・議会・市民一体となってやってほしい。	ご要望としてお聴きする。
	中山間地域は人口減少が顕著だ。できれば意見交換会を中山間地域と都市中心部とで行ってほしい。	ご要望としてお聴きする。
	文化や観光というとき尾道や竹原の間にあるのが三原。三原は何もない。ツイッターやフェイスブックで若者に三原から発信するようにしてほしい。外国人に来てもらえるよう、大学とコラボしたり、グループをつくって若い人たちに三原をPRしてほしい。	ご要望としてお聴きする。

別 表

意 見 交 換 会 班 編 成

班	1班 (9名)	2班 (7名)	3班 (7名)
委員会名	(総務財務)	(厚生文教)	(経済建設)
委員長 (発表者)	正田 洋一	岡 富雄	新元 昭
司 会	平本 英司 安藤 志保	”	”
記 録	杉谷 辰次 高木 武子	宮垣 秀正	田中 裕規
委 員	高原 伸一	萩 由美子	児玉 敬三
委 員	政平 智春	亀山 弘道	徳重 政時
委 員	中重 伸夫	加村 博志	伊藤 勝也
委 員	七川 義明	岡本 純祥	陶 範昭
委 員		寺田 元子	分野 達見